

千葉県子ども・子育て支援プラン2020における待機児童数の状況について 「第2期千葉県子ども・子育て支援事業支援計画」

待機児童数の現状等について

1 待機児童数の推移（各年4月1日時点）

	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
千葉県	1,646人	1,460人	1,787人	1,392人	1,020人	833人	428人

2 施設数・定員数の推移（各年4月1日時点）

	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
施設数	1,155か所	1,283か所	1,402か所	1,600か所	1,764か所	1,905か所	2,019か所
定員数	96,393人	102,567人	108,312人	117,128人	124,235人	130,759人	136,570人

○毎年5千人を超える整備を行っているが、供給量を上回る需要があり、待機児童が依然として多く発生している。

3 年齢別待機児童数（令和3年4月1日時点）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	合計
	19人	145人	165人	95人	4人	428人

○待機児童の中でも育児休業明け1歳～2歳児の割合が約7割を占める。

これまでの実績等について

1 教育・保育の提供体制の確保（第5章3教育・保育の提供体制の確保）

(1) 需要見込み及び整備計画数等（P131、P151～P204）

【保育所等における保育の利用定員総数の見込み】

		R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.5.1	R6.4.1
当初計画	需要見込数	125,550人	127,936人	129,804人	131,504人	133,236人
	整備計画数	129,317人	136,379人	142,078人	146,084人	149,613人
実績値	申込児童数	119,639人	120,830人			
	利用定員数	130,759人	136,570人			

(2) 認定こども園の設置目標数と設置時期（P133～P141）

	R2	R3	R4	R5	R6
目標施設数	201か所	217か所	229か所	237か所	243か所
実績数	202か所	216か所			

2 人材の確保と資質の向上（第4章Ⅲ8②保育等人材の確保と資質の向上）

保育従事者数等について（P96）

それぞれ4月1日時点の数値

	R2	R3	R4	R5	R6
計画	32,146人	33,542人	34,647人	35,457人	36,091人
実績値	34,820人	36,343人			

うち、保育士及び保育教諭数

それぞれ4月1日時点の数値

	R2	R3	R4	R5	R6
計画	27,094人	28,601人	29,847人	30,750人	31,496人
実績値	28,073人	29,430人			

待機児童数の現状等について

1 待機児童数の推移（各年4月1日時点）

待機児童は年々減少しておりますが、未だ解消には至っていません。待機児童の市町村別内訳等は、資料2に記載しておりますが、待機児童の発生原因は市町村によって様々であるため、詳細は資料2で御説明いたします。

2 施設数・定員数の推移（各年4月1日時点）

毎年5千人を超える整備を行っていますが、供給量を上回る需要があり、依然として待機児童が発生しております。

3 年齢別待機児童数（令和3年4月1日時点）

1歳～2歳児の待機児童の割合が高くなっております。その理由は、保護者が育児休業明けに児童を預けようとするため、そこに保育ニーズが高まっていると考えております。

これまでの実績等について

1 教育・保育の提供体制の確保

(1) 需要見込み、整備計画数

申込児童数が計画値より下回っています。この点については、各市町村が、新型コロナウイルス感染症の影響により預け控えがあったか否かについて検討したところ、市によってはコロナの影響で預け控えがあったと分析しています。また、当面の間、保育需要は伸び続けると考えられます。

従って、待機児童が減少している現状においても、今後の施設整備は必要であると考えております。

(2) 認定こども園の設置目標数と設置時期

認定こども園は、各市ではほぼ計画どおりに整備が進んでいます。

2 人材の確保と資質の向上

実績値は、常勤及び非常勤を合算した数値になります。

参考として、待機児童数調査の際、市町村に伺った結果では、令和2年度当初の待機児童833人のうち、保育士不足によるものは120人でした。しかし、1年後の3年度当初では、待機児童自体は428人と減少していましたが、保育士の不足によるものは147人と、逆に増加しておりました。

また、市町村や事業者の方からは、「保育士雇用の見通しが中々つかない、あるいは雇用できないので保育定員を減らしたい」などの声を聞いており、引き続き厳しい状況であると認識しています。

現在、保育士人材の確保・定着の取組については、現役保育士向けに、保育士処遇改善事業や、保育士支援アドバイザーによる巡回支援等を実施し、給与改善や働きやすい環境づくりに努めております。また、新規保育士の確保として、保育士修学資金の貸付、潜在保育士の就職支援として、「ちば保育士・保育所支援センター」における人材マッチングの取組等を実施しております。

引き続き、市町村や事業者から状況を伺いながら、様々な角度から保育人材の確保・定着に取り組んでまいります。